

次期の課題と見通し



今後の経済状況につきましては、経済環境に明るさが出てきたとはいふものの、円高ドル安による輸出の停滞、SARSの再発など景気に悪影響を与える要因も多く、今後の本格的な景気回復は不透明な状況にあります。

IT市場と大塚商会グループの役割



今後のIT市場

そのような状況にあっても、積極的にITを活用し経営改善を図ることは、規模の大小を問わず全ての企業に求められています。その背景として、インターネットを活用した企業間取引や基幹系システムの抜本的見直しに加え、ADSLや光ファイバーの普及、いわゆるブロードバンドの進展により、データ・音声・映像の統合がさらに進むと考えられます。また、基幹系と情報系、インフラとアプリケーション、デジタル複写機とコンピュータの融合など、今まで以上に複合提案・総合ソリューションが求められる時代に突入すると予測されます。このことは、コンピュータ系、複写機系、通信系など、単一分野だけを扱っていたのでは総合的な提案が出来ないことを意味しております。

「ミッションステートメント」の具現化

当社グループは創業以来、お客様のご要望にお応えしながら複写機からコンピュータ、通信機器、インターネット等まで、一社で提供できるソリューションやサービス&サポー

トの分野を拡大してまいりました。今後も、中長期的な経営戦略に基づき、「ミッションステートメント」の具現化に努め、さらなる企業価値の向上を目指します。

具体的には、「New-Web戦略」の推進により継続取引顧客の維持・拡大を図るとともに、サポート事業「トータルαサポート21」の強化、「たのめーる」、「ODS21」、「SMILE」への注力を軸に収益力の確保と売上の伸長を図り、あわせて事業評価をさらに徹底したうえで、これら今後伸長が期待できる事業領域に経営資源を集中させグループ経営の一層の向上に取り組みます。

次期の見通し

次期の連結業績見通しは、売上高3,590億円(前年同期比 4.2%増)、経常利益 101億円 (前年同期比 11.5%増)、当期純利益 60億円 (前年同期比 144.2%増)を計画しています。当期純利益が大幅に増加する要因は、上半期に厚生年金基金の代行返上に関わる特別利益を見込んでいるためです。